

管理 No.226 【BV+IRIS(CPT-11+TS-1)療法】 2017年5月24日作成

疾患名：進行・再発大腸がん 1クール：28日 総クール数：PDあるいはPS悪化まで

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
ベバシズマブ	アバスチン	5mg/kg	Day1.15	
イリノテカン	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」	100 mg/m ²	Day1.15	骨髄抑制、下痢
S-1	ティーエスワン	80 mg/m ²	Day1 夕 -15 朝	血液毒性(グレード3以上)、消化器症状(グレード2以上)

2. レジメン

投与日	Rp	ルート	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1.15	1	点滴静注(本管)	キープ&フラッシュ用	生食 250mL		血管外漏出・逆血予防のルート確認 ケモ終了時ルートのフラッシュ用にも使用する ※全量投与しなくてもよい
Day1.15	2	点滴静注(側管)	90分(備考参照)	アバスチン(100mg/4mL) (400mg/16mL) 生食 100mL	5mg/kg	初回投与時は必ず90分で投与、初回投与の忍容性が良好なら2回目は60分、2回目も良好ならそれ以降は30分で投与可能
Day1.15	3	点滴静注(側管)	15分	アロキシ(0.75mg/5mL) デカドロン(3.3mg/1mL) 生食 50mL	1V 3A	イリノテカン投与30分前
Day1.15	4	点滴静注(側管)	90分	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」 5%ブドウ糖 250mL	100mg/m ²	直射日光を避けること
Day1.15	5	点滴静注(側管)	5分	生食 50mL		
Day1 夕 -15 朝	6	内服(1日2回)		ティーエスワン	80 mg/m ²	S-1 投与量:体表面積 1.25 m ² 未満 80mg/day 1.25~1.5 m ² 100mg/day 1.5 m ² 以上 120mg/day

3. 初回投与基準

- PS規定: PS 0~2
- ヘモグロビン \geq 9.0g/dL、白血球数3500~12000/mm³、好中球数 \geq 2000/mm³、血小板数 \geq 10万/mm³
- 総ビリルビン \leq 1.5 \times 正常値、AST、ALT \leq 100 IU/L($<$ 2.5 \times 正常値)
クレアチニン \leq 1.2mg/dL、($<$ 正常値、クレアチニンクリアランス \geq 80mL/min)
- 下痢 グレード0 および水様便なし
- 上記以外の非血液毒性 グレード0~1

参考:ティーエスワンの単剤での基準

4. 休薬基準(休薬を考慮する値・症状など)

- 白血球数 $<$ 2000/mm³、好中球数 $<$ 1000/mm³、血小板数 $<$ 7.5万/mm³
- AST、ALT $>$ 100IU/L(\geq 2.5 \times 正常値)、クレアチニン \geq 1.5 \times 正常値、(クレアチニンクリアランス $<$ 30mL/min 休薬、 $<$ 60mL/min 減量)
- グレード2以上の下痢、口内炎
- 上記以外の非血液毒性 グレード3以上 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く

5. 休薬後再開基準

- 白血球数 \geq 3000、好中球数 \geq 1500/mm³、血小板数 \geq 10万
- AST、ALT $<$ 100 IU/L($<$ 2.5 \times 正常値)、(総ビリルビン \leq 1.5 \times 正常値)
クレアチニン \leq 1.2mg/dL、(クレアチニンクリアランス30mL/min 以下には再投与しない)
- 下痢、口内炎 グレード1以下

参考:ティーエスワンの単剤での基準

(4) 上記以外の非血液毒性 グレード1 以下 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く

6. 減量基準（以下の値、症状が出現した場合、次回再開時減量を考慮する。）

ティーエスワン減量基準

(1) 白血球数 $<1000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $<500/\text{mm}^3$ 、血小板数 $<5 \text{ 万}/\text{mm}^3$

AST、ALT $\geq 200\text{IU/L}$ 、クレアチニン $\geq 1.5 \times$ 正常値、(クレアチニンクリアランス $\geq 60\text{mL/min}$ 、 $30\sim 40\text{mL/min}$ の場合 2段階減量)

(2) 下痢、口内炎 グレード3 以上

イリノテカン減量基準

(1) 白血球数 $<1000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $<500/\text{mm}^3$ 、血小板数 $<5 \text{ 万}/\text{mm}^3$

(2) 非血液毒性 グレード3 以上 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く

TS-1 減量の目安 $120\text{mg/day} \rightarrow 100\text{mg/day} \rightarrow 80\text{mg/day} \rightarrow 50\text{mg/day}$

イリノテカン 減量の目安 $125\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 100\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 80\text{mg}/\text{m}^2$

★参考までにティーエスワンの単剤での基準を一部()で表示

参考:ティーエスワンの単剤での基準

<アバステン中止基準>

- ① アバステンが原因と考えられる Grade3 以上の過敏症
- ② 消化管穿孔又は裂開が発現した場合
- ③ Grade3 以上の出血
- ④ Grade1 以上の咯血
- ⑤ 静脈血栓症・塞栓症、動脈血栓症・塞栓症が発現した場合
- ⑥ 薬剤でコントロールできない Grade3 以上の高血圧
- ⑦ Grade4 以上のタンパク尿
- ⑧ 可逆性後白質脳症症候群が発現した場合、中枢神経障害の症状又は画像所見が認められた場合